

特別支援教育の充実

～伸ばそう 一人一人のよさを～

子どもの困り感に気付いていますか？

- 遊びや生活のペースがみんなから遅れてしまう…。
- 急に予定が変わるとどうしたらよいかわからなくなってしまう…。
- すぐに気が散って、最後までできない…。
- 勉強がよくわからないから学習が遅れがちなんだ…。



- いつもと違うと逃げだしたくなってしま…。
- 身の回りのことがひとりでできない…。
- みんなと仲良く遊びたいんだけど、なぜかけんかになってしまう…。
- 保育室や教室から飛び出してしまう…。
- 整理整頓がうまくできなかつたり、プリントをすぐなくしたりして困るんだけど…。

何才でも、何年生でも、気付いたときからスタートします！

ひとりで悩まず相談しましょう。(園・学校や保健福祉課へ相談)



担任の気付き



保護者の気付き・不安

園・学校全体で特別支援教育が実施されています。

障害のある子どもや特別な支援が必要な子どもを含む、すべての子どもが参加できる学びを目指します。

そのために園・学校ではこんな取組をしています

- 一人一人にあった具体的支援を考えていきます。
 - 教師や保育士はチームを組み、保護者と協力して具体的支援について相談しています。
- 教師・保育士は子どもを理解し支援します。
 - 子どもの得意なことや苦手なことなど、学習や行動上の特性を理解して指導します。
 - タイムリーな声かけと賞賛で自信をもたせます。
 - 具体的な指示や予定、手順の提示でやることわかるようにします。
 - カード、サイン、書くなど、気持ちを伝える方法が複数あることを教えます。
- 安心できる居場所をつくります。
 - 一人になりたいとき、落ち着ける場所があります。
 - ゆったりした時間や場所をとり、子どもの行動を待ちます。
- 学習の遅れがちな子どもも安心して学習できます。
 - 複数の教職員が指導する「チーム・ティーチング(TT)」やひとつの学級を分ける「少人数指導」、特に必要な場合は「個別の指導」を行います。
- 特別支援学級があります。
 - 一人一人のニーズに合わせて活動や学習をします。得意なことを伸ばし、安心感をもたせながら、学習や活動を進めていきます。
 - 社会性を育て、生活能力の向上も目指します。

家庭・地域
関係機関

◎中央児童相談所
◎県教育センター

◎特別支援学校
◎各分野の専門機関
◎県教育委員会(医療・福祉・相談)

◎保護者

連携

【就学指導委員会】
【就学指導連絡会】

・就学相談
・ひまわりの会
・療育相談

小中学校から個別の指導計画作成

幼児の成長支援ファイル

「田上の12か年教育」の教育委員会の役割

- 1 「田上の12か年教育」で幼・小・中の縦断的連携や学校・家庭・地域の横断的連携の推進
- 2 12か年教育の先進的情報の収集・伝達と教育・福祉等の関係機関との連携の推進
- 3 教職員の研修と教育環境の整備・充実

～ 田上の子は田上で育てる～

田上の12か年教育



里山で

育

田上町教育委員会

竹の友幼稚園・田上小学校・羽生田小学校・田上中学校

田上の12か年教育 めざす子ども像：志をもって意欲的に学び 自律と思いやりの心をもつ たくましい子ども

— 家庭で育ち 学校で学び 社会へ羽ばたく —

家庭



【中学校段階】

《生活習慣＋学習習慣・自律》

- ・毎日の朝食。
- ・部活、家庭学習、睡眠の自己管理。

《家庭の一員として》

- ・だめなことはだめとする。
- ・家庭での役割を与え、責任をもたせる。



ゲームやネットの管理

【小学校段階】

《生活習慣＋学習習慣》

- ・睡眠時間の確保。
- ・余暇をスポーツ等に親しませる。
- ・忘れ物をさせない。
- ・前日準備の習慣付け。
- ・(10分×学年)の家庭学習の徹底。
- ・読書の習慣を付ける。

《家庭の一員として》

- ・家庭での役割を与え継続させる。

【幼児段階】

《生活の基軸は起床時刻》

- ・登校時刻に合う家庭生活を設計する。(小学校への準備)

《基本的生活習慣 3～5歳》

- ・早寝早起きをさせる。
- ・朝食をしっかり食べさせる。
- ・歯磨き、洗顔や衣服着脱、そしておしっこ、うんちが一人のできるようにする。
- ・持ち物の準備や後片付けができるようにする。

《しつけ3原則》

- ・しっかり褒め、しっかり叱る。
- ・手伝いと体験を計画的にさせる。
- ・愛情をもって、子どもの育ちを見守る。

食事と言葉と我慢・我が家の約束

ノートレビ、ノーゲームデーをつくり、回遊や読書を楽しもう

《今、育てたい子どもの姿》

意欲・志

将来の夢を実現するため自分のよさを伸ばす。

- ①めあてをもって、意識的に話を聞く。
- ②論理的に考えをまとめ、伝える。
- ③今しなければならぬことに気付き取り組む。



自信・希望

夢やあこがれをもち、最後までやり通す。

- ①相手の目を見て、私語をせずに話を聞く。
- ②自分の考えをまとめ、相手にわかるように話す。
- ③当番や係の仕事を進んでやる。

喜び・夢

大好きなことに夢中になる。

- ①口を閉じて静かに話を聞く。
- ②伝えたいことを自分なりに言葉で表現する。
- ③整理整頓や片付けを喜ぶ。



つらぬく柱

田上の自慢ができる。

あいさつや返事をする。

自分のよさを知って伸ばす。

役割を果たしてゆく。

働くことの意義を考える。

【大好き田上】

【ともに生きる】

【自分のことは自分で行う】

【やり抜いて進む】

【将来への夢を持つ】

人間関係形成・社会形成能力

自己理解・自己管理能力

課題対応能力

キャリアプランニング能力

田上への愛着

《子どもを育てる教師・保育士の姿》

中学校

- 生き方講話、職場体験を通して、社会性を育む。
- 成長が実感できる場づくりを行う。

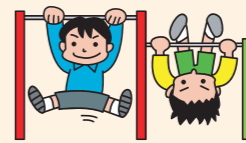
- ①めあてを明示し、課題追求が見える授業づくりを行う。
- ②事実や根拠に基づいて、考えを書かせる。筋道を立てて、考えを伝える場を設ける。
- ③すべきことはきちんとさせ、さらに進んで取り組ませる。それを認め励まし自己肯定感を高める。

算数・数学／英語
アプローチ・スタートプラン

小学校

- 田上の人・里山・できごととの関わりを通して、社会性を育む。
- 夢を育む場づくりを行う。

- ①教師は「止まって、顔を見て、定位置で」話す。「聞くときの約束」を掲示し徹底する。やることや考えることを板書する。
- ②考えをまとめ、書く時間を確保する。「話すときの約束」を掲示し徹底する。
- ③仕事のやり方や進め方を教え、考えさせる。



スタート・カリキュラム
アプローチ・カリキュラム

幼稚園

- ①話を聞く態勢づくりをしてから話す。小さな声でゆっくりと話す。簡潔に話す。
- ②みんなの前で話す機会を増やす。思いを丁寧に受け止め、話したいという意欲を高める。うまく伝えられない時は言葉を補い、表現の仕方を教える。
- ③身の回りの片付けについて時々言葉をかけ、確認させる。生活の仕方を教え、できることは自分でさせる。手伝おうとする姿を認め、自信や意欲につなげる。



地域



社会性と自立の基盤

【キャリア教育推進協議会】

- ・目的＝学校、家庭、地域住民、産業界が目指す子ども像を育むためにキャリア教育を推進する。
- ・構成＝商工会、農業関係者、PTA、園・学校

たくましく育てる

【社会教育及び連携事業】

- ゆうゆう教室
自主・協調性、創造性及び豊かな情操の育成
- 夏休み妙高青少年研修
リーダー育成と世代間交流の推進
- 子どもチャレンジ農業体験
「田んぼへGO」
- 各種ボランティア
町のボランティア
- 田上町スポーツ少年団

<連携事業>

- 田上スポーツクラブ
(総合型地域スポーツクラブ)
- 健康教室

子育てをしながら親も学ぶ

竹の友幼稚園は、集いの広場、子育て広場

- 子育て支援センター
- 療育相談
- ひまわりの会
(就学前療育指導)

見守りと応援・支援